

これまでの市民ワークショップの様子

庁舎建設事業にかかわる様々な内容について、ワークショップを継続的に実施しています。継続的に行われたワークショップでは、「新しい庁舎」「ふれあいセンター」「中央公園」などの将来像について、市民、職員、設計者が互いにアイデアを出し合い、意見交換を行っています。ワークショップで話し合われた内容を反映しながら、徐々に具体的な設計案を固めていきます。



【第1回】
未来の庁舎とふれあいセンターに期待することを考える



【第2回】
庁舎やふれあいセンター、公園など場所ごとに考える



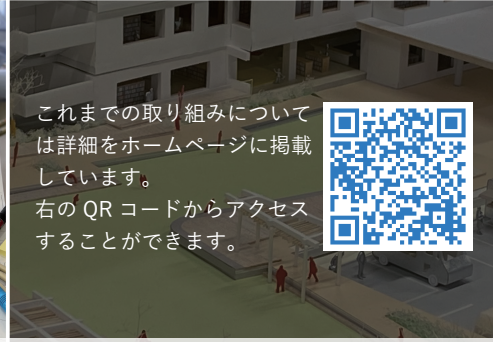
【第3回】
設計案や設計チームの設計実績などを
知り、感想や意見を共有する



【第4回】
必要な人材や備品、運営の方針などについて考える



【第5回】（公園編）
「みんなが行きたくなる公園」の活動や
過ごし方などを考える



これまでの取り組みについては詳細をホームページに掲載しています。
右のQRコードからアクセスすることができます。

事業全体のスケジュール

現在進めている基本設計については、説明会やパブリックコメントを実施したうえで確定し、実施設計に反映させていきます。実施設計段階では、具体的な仕様や建設コストの精査などを行い、建設工事着手に向けた準備を進めていきます。

基本設計案についての市民説明会を開催します

新庁舎の配置計画や建築計画、整備方針など、市民の皆さまの理解を深めていただくため、次のとおり基本設計案についての説明会を開催します。

日 時	会 場
7月17日（土） 19時～20時30分	菱刈環境改善センター
7月18日（日） 14時～15時30分	大口ふれあいセンター

※詳細については、後日改めて案内します。

問合せ先

伊佐市 財政課 庁舎建設推進係
〒895-2511 伊佐市大口里 1888 番地 電話：0995-23-1311（内線 1147）



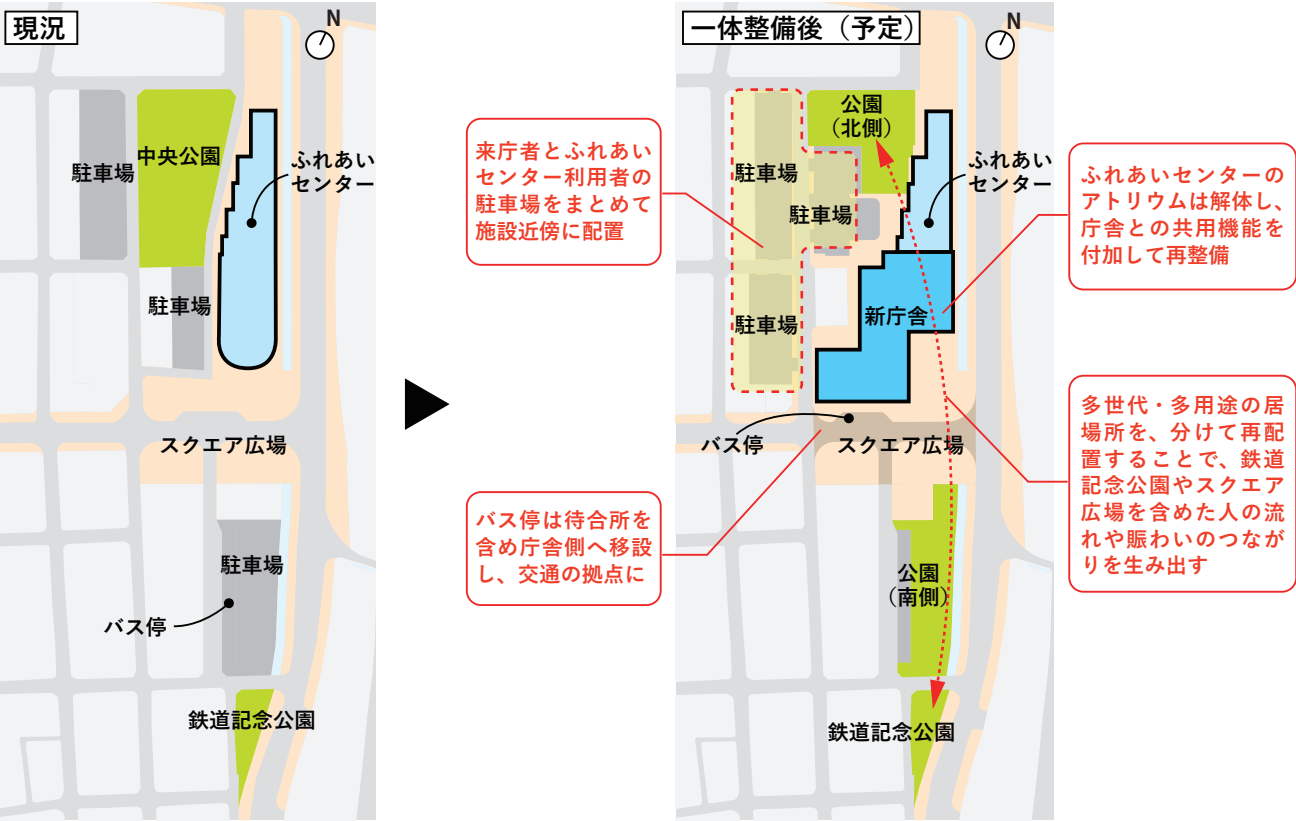
整備目標 「みんなで時間を共有し、賑わいを育む 伊佐市のシンボルとしての新庁舎の整備」
市民も職員も、みんなが時間を共有することのできる新庁舎を整備します。また、市民に愛されてきた大口ふれあいセンターと新庁舎との複合化により、新たな賑わいを育む拠点となる、伊佐市の新たなシンボルとしての新庁舎を目指します。

事業の全体概要

配置計画

アトリウムの雨漏りや空調不良、エレベーターの不具合などの様々な問題を効果的に解消するためにふれあいセンターの南半分を減築し、新庁舎を増築することで、一体的な施設として整備します。このことにより、さらに施設間の連携を促す計画です。

- 中央公園
- 現在の役割を考慮しながらも、多様な活動が心地よく共存できる公園として、性格が異なる2つの公園として再配置
- 北側
- ふれあいセンターと連携して利用できる公園 低年齢の子どもなどの穏やかな活動も共存できる公園として検討
- 南側
- バスケットなどのアクティブなスポーツも行える公園や、商店街との連携したイベントなども行える公園として検討 鉄道記念公園とのつながりも考慮
- バス停
- 南側駐車場の一角にあるバス停を庁舎側へ移設し、交通拠点として整備
- 駐車場
- 施設近傍にまとめて配置することで利便性を向上させるとともに、歩行者と車の動線に配慮した安全な動線計画を実現

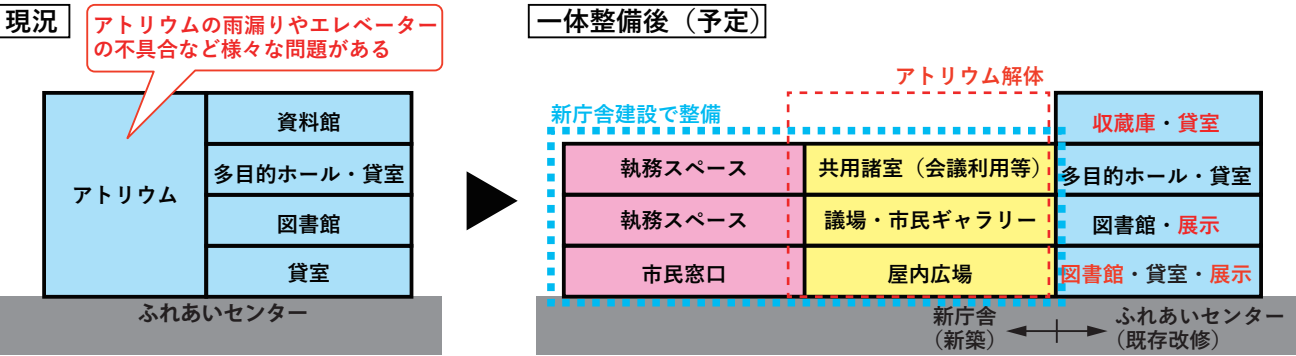


建築計画

新設する庁舎は3層で計画し、低層でコンパクトな庁舎を目指します。ふれあいセンターのアトリウムは雨漏りや空調不良などの様々な問題を抱えているため解体し、庁舎と相互に利用できる空間（屋内広場）として再整備します。

庁舎の1階は市民利用の多い窓口を計画し、市民サービスの向上に努めます。2階は市長室などの行政執行部門や議場などを配置します。3階には、教育委員会や業務部門の窓口を計画します。

ふれあいセンターは、庁舎との一体的整備や公園との関係も踏まえ、各機能の配置やあり方を見直します。



※本資料の記載内容は途中経過を示すものです。今後の検討により変更が生じる可能性があります。

新庁舎とふれあいセンターの利用イメージ

